



★ 営農ウイークリーNEWS ★

第4回京おくら生産者技術交流大会



「京おくら」の産地化を目指し、2019年から栽培を開始。2025年は、前年を上回る19トンの出荷を終えました。

第4回を迎える大会は、今後の生産拡大を目指すとともに栽培技術の向上と生産者相互の交流を図ることを目的に開かれました。

当日は、「京おくら」生産者のほか市場関係者、行政機関、京都光華女子大学短期大

学部の学生、JA職員ら66人が参加。市場関係者や全農京都から流通状況の報告が行われたほか、基調講演では、注目を集める環境にやさしい資材の生分解性マルチにおける活用法などをテーマに鹿児島県経済農業協同組合連合会園芸事業部園芸資材課の積山昇平主査が講演されました。また、京都光華女子大学短期大学部ライフデザイン学科の桑島千栄准教授と学生が「京おくら」の生産現場や販売、消費における課題解決に向けた学生の豊かな発想で報告されました。



大会内では、「京おくら」の生産振興や生産出荷に対し、優秀な功績をおさめられた生産者や関係者に対し、褒賞や感謝状が交付されました。おめでとうございます。

- ・組合長賞＝総出荷数量部門第1位：家村昇
- ・組合長賞＝主力規格70g出荷数量部門第1位：黒川尚輝
- ・組合長賞＝早期出荷開始部門第1位：可畠真奈己
- ・組合長賞＝面積あたり収穫数量部門第1位：家村徳佳
- ・組合長賞＝前年対比出荷数量部門第1位＝藤林真輝
- ・組合長賞＝長期間出荷数量部門第1位：家村昇
- ・組合長賞＝最終出荷部門第1位：松本幸治
- ・感謝状＝京都光華女子大学短期大学部ライフデザイン学科



— TAC information —

新宿・高島屋で販売促進会



1月16日～18日、新宿高島屋地下生鮮野菜売場で開かれた「京都フェア」で、ブランド产品の「京はたけ菜」と「花菜」の試食宣伝活動を行いました。

今回、1月16日～18日は、公益社団法人京のふるさと産品協会主催による「京都フェア」が開催されており、管内の冬季のブランド产品で出荷最盛期を迎える「京はたけ菜」と「花菜」の新たな販売と需要を開拓し、販売拡大を図ることを目的に参加しました。



積雪及び低温による被害防止の技術対策 農業技術情報（第3号）

低温や大雪による農作物やハウスなどの施設の被害を防ぐため、次の技術対策を徹底してください。

ハウス園芸品目（野菜・花）

パイプハウスの雪害は、重く湿った雪が降ったときに発生しやすくなる。降雪前に ハウス内外の点検と備えを行うとともに、積雪予報の情報収集に努め、雪が降り始めてからの対応を素早く行う。

「園芸ハウス台風対策マニュアル第6章雪害対策（2019年3月作成）」
<https://www.pref.kyoto.jp/nosan/news/documents/detailverall.pdf> を参考に対策を実施する。

（1）点検・補強

①ハウスの屋根中央部が陥没しないように、補強用の支柱ができるだけ細かな間隔で立てる。支柱には、直管パイプのほか、たわみが少ない間伐材や竹も利用できる。間伐材等を利用する場合は、先端に少し切れ込みを入れてハウスの骨組みのパイプと 支柱がずれないようにする。なお、ビニル・PO等の被覆フィルムを破らないよう先端は布等で覆う。また、支柱が積雪の重みで沈まないように、地面と支柱の間にはブロックなどを敷く。

②ハウス内に直管パイプで筋交いを設置し、ハウスの横倒れを防ぐ。既設の筋交いは台風等で緩んでいることがあるため、きっちりと固定されているか点検を行う。

③被覆フィルムがたるんでいると屋根に積もった雪が滑り落ちにくくなるため、ハウスバンドの緩みを点検し、きっちりと張りなおす。また、被覆フィルムが破れていると、室温が低下して雪が積もりやすくなるため、補修する。

④パイプハウスに外張りの被覆資材（寒冷紗等）を設置している場合、雪が落ちにくくなるため、被覆資材を取り外す。

⑤暖房機が設置されている場合は、燃料の残量を確認し、できる限り満タンにしておく。

⑥当面、作物を栽培する予定がないハウスや被覆フィルムが著しく劣化したハウスでは、降雪前に被覆を外す。フルオープンハウスで天井の開放が可能な場合は、降雪前に開放する。

⑦多量の積雪が予想され、通常の除雪作業ではハウス倒壊の危険性が高いときは、緊急的に被覆フィルムを切断することを検討する。

（2）降雪時の対策

①雪が降り始めたときは、ハウスの屋根の雪を早めに滑落させる。

②暖房機が設置されている場合は、内部被覆を解放してハウス内を加温し、屋根付近の温度を高め、雪を滑落させる。

③雪が屋根に積もったすぐ後は、倒壊の危険があるため、ハウス内に立ち入らない。

④ハウス側面に滑落した雪が多くなると、屋根の雪が落ちなくなるため、側面の雪は次回の降雪に備えて早めに除去する。

⑤作業は単独で行わず、二人以上で対処する。

（3）低温障害対策

葉菜類では、ベタロン、パオパオ等の資材を直掛けし、凍霜害を防止する。施設栽培で、暖房機が設置されている場合は、加温して凍霜害の回避、軽減を図る。